

# 課題発見と分析

## —課題解決に向けたケースワーク—

南大阪地域大学コンソーシアム  
ミドルリーダー養成講座 第1日5限

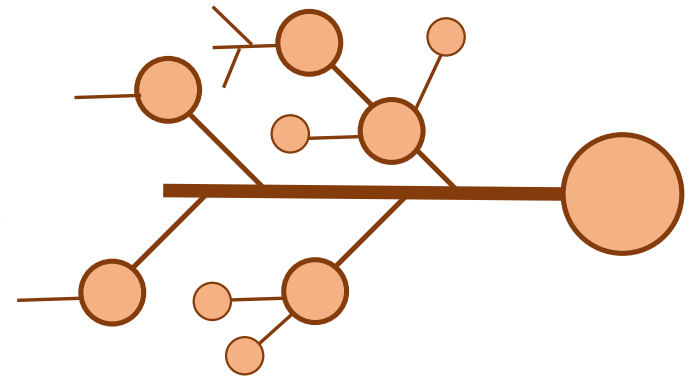
ファシリテーター：中村雅司（大阪大谷大学）

# 本ワークのねらいと内容

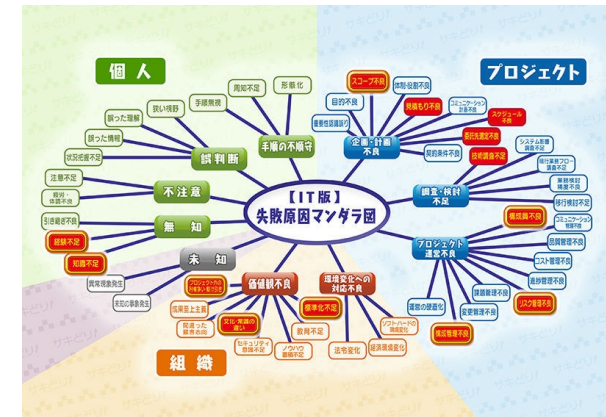
- 本ワークのねらい
  - 課題解決を意識した課題分析手法を学ぶ
  - より幅広い視点で分析できるような手法を実践的に学ぶ
- ワークの内容
  - これまでの経験から、ご自身が経験した失敗事例と成功事例をいくつか列挙する
  - なぜ、その結果（成功・失敗）につながったかを要因分析する

# 要因分析をする課題分析手法

- 特性要因図（フィッシュボーン）
  - 結果としての特性を要因に分解する手法
  - 太い幹から細かい枝葉に階層的に分解する



- 失敗曼荼羅
  - 同様に結果を要因に分解する手法
  - 網羅性・客観性をより意識したもの
  - 中心から周縁に向けて要因を書いていく



# ワーク

- 個人ワーク(15分)
  - 失敗事例・成功事例のワークシートへの記入
  - どうしてその結果（成功・失敗）になったか、その要因を記述
- グループ内の共有(25分)
  - グループ内で共有する
  - ミドルリーダーが果たすべき役割は何かを考える
- 全体共有(10分)
  - 発表する際は、可能な限りコンパクトに要点をまとめてください
  - 発表後に他グループからコメントや質問をいただくとありがたいです